

# 山形県感染症発生情報

第2週(平成22年1月11日～平成22年1月17日)

疾患名	報告数	増減	特記事項
(インフルエンザ定点 48)			
インフルエンザ	249	△	多発中
(小児科定点 30)			
RSウイルス感染症	13	▽	
咽頭結膜熱	6	△	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	▲	多発中
感染性胃腸炎	421	▲	多発中
水痘	43	▽	
手足口病	18	△	
伝染性紅斑	3	▼	
突発性発しん	19	▽	
百日咳	0	▽	
ヘルパンギーナ	1	△	
流行性耳下腺炎	57	▽	多発中
(眼科定点 8)			
急性出血性結膜炎	0		
流行性角結膜炎	8	▲	
(基幹定点 10)			
クラミジア肺炎	0		
細菌性髄膜炎	1	▽	
マイコプラズマ肺炎	6	▲	
無菌性髄膜炎	1	△	

(▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少、多発中:報告数50名以上)

疾患名	報告数			累積報告数 (*平成22年1月～)
	第2週	1週前	2週前	
2類感染症				
結核	0	3	4	3
3類感染症				
コレラ	0	0	0	0
細菌性赤痢	0	0	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0
パラチフス	0	0	0	0
4.5類感染症				
E型肝炎	0	0	0	0
A型肝炎	0	0	0	0
オウム病	0	0	0	0
つつが虫病	0	0	0	0
ライム病	0	0	0	0
レジオネラ症	0	0	0	0
アメーバ赤痢	0	0	0	0
ウイルス性肝炎	0	0	0	0
急性脳炎	0	0	0	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0
後天性免疫不全症候群	0	0	0	0
ジアルジア症	0	0	0	0
髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0
梅毒	0	0	0	0
破傷風	0	0	0	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0
風しん	0	0	0	0
麻しん	0	0	0	0

1 本県のインフルエンザ定点当たり報告数は5.19人で、前週(4.94人)とほぼ同数であった。型別は1月12日現在、新型(A/H1N1)のみ検出されており、季節性は検出されていない。報告数は減少傾向を示しているが、例年1～3月が本格的な流行期なので、今後の動向に注意が必要。

2 感染性胃腸炎は、県内各地区で増加しており、前週の約1.5倍に増加している。特に、村山地区で定点当たり報告数が多い。例年より1ヵ月程度立ち上がりが遅かったが、例年のピーク時に匹敵する報告数となっている。

患者の吐物や便の処理には十分注意するとともに、手洗いの徹底が重要。

3 流行性耳下腺炎が、庄内地区で流行している。

4 細菌性髄膜炎の患者が、村山地区から1名報告された。

5 無菌性髄膜炎の患者が、村山地区から1名報告された。

(1月19日現在 山形県衛生研究所)